

「ねじれ国会」、「ねじれ年金」、「ねじれ外交」、「ねじれ地位協定」などなど……。年度末から新年度へ、まさに慌ただしさが増してきている今日この頃でゴザイマス……。

さて、会報4月号如何でしたでしょうか？

まず、真栄田篤彦先生の【表紙写真】……。増上寺（1598年築）と東京タワー（1958年築）の意外な関係……。認知症対策の「語呂合わせ」……。とても参考になりました。

第185回沖縄県医師会臨時代議員会において、宮城信雄会長が再選、新執行部が誕生いたしました。【新執行部就任ご挨拶】の中には、いろいろなキーワードがございます。是非、ご一読頂きたいと思えます。宮城信雄会長の決意表明にもありますように、「地域に根ざした活力ある医師会」の実現のために、元気な県医師会と、もっと元気な地区医師会が、さらなる連携を保ちながら、より良い沖縄の医療を目指していくべきだと考えます。

盛りだくさんの【報告】がございます。①会館建設に関する件（水はけ問題は大丈夫でしょうか？）、②産業医契約の件（学校産業医一月額5,500円は如何なものでしょうか？）、③「特定健診・特定保健指導」の件（個別健診6,050円・集団検診5,000円で承！）、④ドクターヘリの件（1億6千万円の年間予算計上の継続は可能なのでしょうか？）、⑤医療廃棄物の適正処理の件（医師会・行政・業者による三者協議の必要性！）、⑥「後期高齢者医療制度」の診療報酬体系の件（受診率の低下？かかりつけ医の重要性！）、⑦「初診料・再診料・外来管理加算（5分ルール導入）」の件（概ね5分とはなんぞや？）、⑧「処方箋様式」の再変更の件（原則一後発品を使用？）、⑨「レセプト・オンライン請求」の義務化の件（セキュリティの問題は……？）、⑩混合診療の件（映画「Sicko」の世界がすぐそこまで来ております！）、⑪「療養病床再編」の件（介護難民問題・老老介護問題など）、⑫「4疾病5事業」の医療連携体制構築の件（地域医療対策協議会において各県の情報が瞬時に得られる事が素晴らしい！……by安里哲好先生）、⑬「医療に関するシンクタンクの設置」の件（未来を見据えた恒常的な組織に育ちますように……！）などなど……。息切れるような、数々の重いテーマの答えはなかなか見出せず、まだまだ難題山積のようです。

平成19年度第2回『医療に関する県民との【懇談会】』が、平成20年1月24日に開催されました。懇談内容は16ページに及ぶ超大作となっておりますので、是非ご一読ください。現行の形式での懇談会は今回が最後となります。しかし、今後も、少し手法を変えて、地域住民・マスコミ・行政と県医師会・地区医師会が、忌憚のない情報交換・意見交換のできるシステムを構築・継続するべきだと考えます。担当理事の玉井修先生、本当にお疲れ様でした。さらなるバージョンアップを期待いたしております。

【月間行事のお知らせ】①「未成年者飲酒防止強化月間」の話題を、玉井修先生にご投稿頂きました。とてもウチアタイする内容でしたが、沖縄県の少年の飲酒補導の実態が、全国の9.7倍という異常

事態にはさすがに驚きました。②4月7日の「世界保健デー」に因んで、宮川桂子先生に「気候変動から健康を守る」というタイトルでご投稿頂きました。「温室効果ガスの排出減少・自分自身の健康増進のためにも歩くべし……！」、「食料自給率向上のために『地産地消』に徹するべし……！」と、いう事です。肝に銘じて行動したいと思えます。

【生涯教育】のコーナーに、白石祐之先生から「腹腔鏡（補助）下の肝切除術およびラジオ波焼灼術」というタイトルでご投稿頂きました。少量の出血・術後創部痛の軽減もさることながら、やはり術後早期離床が可能という事がポイントだと感じました。ご投稿頂き、本当にありがとうございました。

【プライマリ・ケア】のコーナーでは、潮平芳樹先生に比較的診断が付きにくい「線維筋痛症・過活動膀胱」という2つの疾患をご紹介頂きました。「訴えの多い患者さん」と敬遠する前に、精神科・心療内科・泌尿器科などの先生方と密に連携し、慎重に治療する重要性を痛感いたしました。

【インタビューコーナー】：沖縄県内科医会 会長伊集守政先生。一昨年ご病気されたとのこと……。「開業医は病気したらおしまい！」ではなく、病診連携を核にしたセーフティーネットの構築が本当に重要な課題だと再認識いたしました。

【地区医師会コーナー】：琉球大学医学部附属病院がんセンター 増田昌人先生。平成19年9月18日に「がんセンター」を開設されたとのこと……。各診療科との連携、地域との連携……。それぞれ、この連携体制の中核として機能される事を心から願っております。今後とも宜しくお願い申し上げます。

【ロゴマークは語る】：アメカル耳鼻科クリニック 真栄田宗慶先生。正式な表記が「咽喉科」ではなく「いんこう科」とは知りませんでした。しかし、「咽喉科」をはずされたのはやはり正解だったと思えました。

【リレー随筆】：宮良長治先生の『ゾウガメを飼っています。』という話。なんとも面白い話でした。甲長1m、体重100kgに成長した暁には再度ご投稿の程お願い申し上げます。しかし、スーパーの「おつとめ品」コーナーでは、ほくそ笑まない方がいいかもしれません。

【随筆】：長田清先生の『ソリューショントークのすすめ』という話。「うまくいっていること」、「楽しいこと」、「面白いこと」、「良かったこと」を引き出すテクニック……。とても参考になりました。「怒りは無知！涙は修行！笑いは悟り！」、「一笑一若！一怒一老！」、「笑顔は0円（ただ）」、「副作用のない薬～笑い！」……。SSRIを使うより、自力でセロトニン分泌量を増やす「お手伝い」が必要だと痛感いたしました。

さ～、いよいよ4月……。新年度が始まります。絶望しすぎず、希望持ちすぎず、ぶっ倒されないように、そこそこに気合を入れて、迫り来るアゲインストの風には負けないように頑張ってください。

広報委員 照屋 勉